

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

浜松市長 中野 祐介

市町村名 (市町村コード)	浜松市 (22130)	
地域名 (地域内農業集落名)	庄内地区 (別紙のとおり)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年11月27日 (第2回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・耕地は台地畑地エリア、低地畑地エリアと低地水田エリアに分かれる。
 ・北部の台地畑地は、ハウス畑作と大規模担い手による露地畑作(レタス・キャベツの産地を形成等)で利用されているが、ハウスのリタイア地が増えている。跡地は大規模担い手による利用が進んでいるが、ハウスのリタイア地から集積しているため、作物混在や担い手の耕作地分散が生じている。ハウスと露地のため交換集約は難しい。また残置ハウスにより利用が妨げられている。
 ・細江地区との境の台地端部は露地果樹(みかん)で利用されている。
 ・南部台地畑地の庄和村櫛地区では、新たな大規模担い手の進出により荒廃農地の露地果樹園地(みかん)への再生利用が拡大している。
 ・南部低地畑地の村櫛臨海地区はまとまった畑地エリアで、複数の大規模、中規模担い手による露地畑作利用が進んでいるが、担い手ごとの耕作地や作付作物が混在してしまっている。
 ・水田エリアは荒廃化しているが、まとまっているため基盤整備事業と農地集積事業の一体実施による水田畑地化(前田沖地区)や大型農業施設用地整備(保令地区)が進められている。
 【地域の基礎データ(R5.1担い手アンケート)】
 ・担い手農業者61名(69歳以下又は70歳以上後継者あり54名、70歳以上後継者なし6名、回答なし1名)
 ・主な営農類型:水稲作1名、露地畑作8名、ハウス畑作44名、露地果樹7名、ハウス果樹1名、茶0名、花木0名、畜産0名、その他0名

(2) 地域における農業の将来の在り方

・農協や大規模担い手により形成された作物産地の維持・発展を図る。(施設花き、キャベツレタス等)
 ・担い手間調整を進め、作物ごとの団地化により、作物混在を解消し、各々の耕作作業の効率化と農薬ドリフトなどの混在問題の解決を図る。まとまったほ場の確保により、将来的なドローン利用や作業の自動化などスマート農業の導入の可能性を高める。
 ・担い手耕作地の集約化に支障となっている荒廃農地の再生利用を図る。
 ・リタイア時の耕作地やハウス等の農業施設の引継ぎ方法の確立、地域への周知浸透を図る。
 ・庄和村櫛地区の台地では、まとまった単位の貸し出しや荒廃農地の再生利用を支援し、新興の担い手の樹園地の拡大と新たな産地形成を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	597.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	597.0 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

・農振農用地区域内の農地(青地農地)とする。ただし流動性の低い営農型太陽光発電下部農地は除く。
・当初設定においては第91回農用地区域の変更(令和7年2月)に係る農地は除く。(このため上記(1)の面積は今後の変更あり。第91回農用地区域の変更分の確定後に面積確定する。)

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農業委員会(農業委員・推進委員)の農地利用最適化活動や農協、土地改良区による農地集積事業(定期的な貸出農地募集→利用調整の事業)により、担い手を中心に農地中間管理事業を活用した農地の利用集積を進める。集団農地では耕作地の集団化(集約化)のための耕作地交換を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用するため、まずは農地中間管理機構への貸付の拡大を図る。その後、農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用し、担い手リタイア時の耕作地の適切な継承や、担い手個々の耕作地の段階的な集約化(集団化)を図る。
(3)基盤整備事業への取組方針
・担い手のニーズや地域の課題等を踏まえ、必要な基盤整備事業を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・現存の担い手による農地利用を優先しつつ、必要に応じて地域外から多様な経営体を募り、担い手として育成していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・地域の作業をまとめて実施することにより効率化が期待できる農作業については、担い手への作業委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

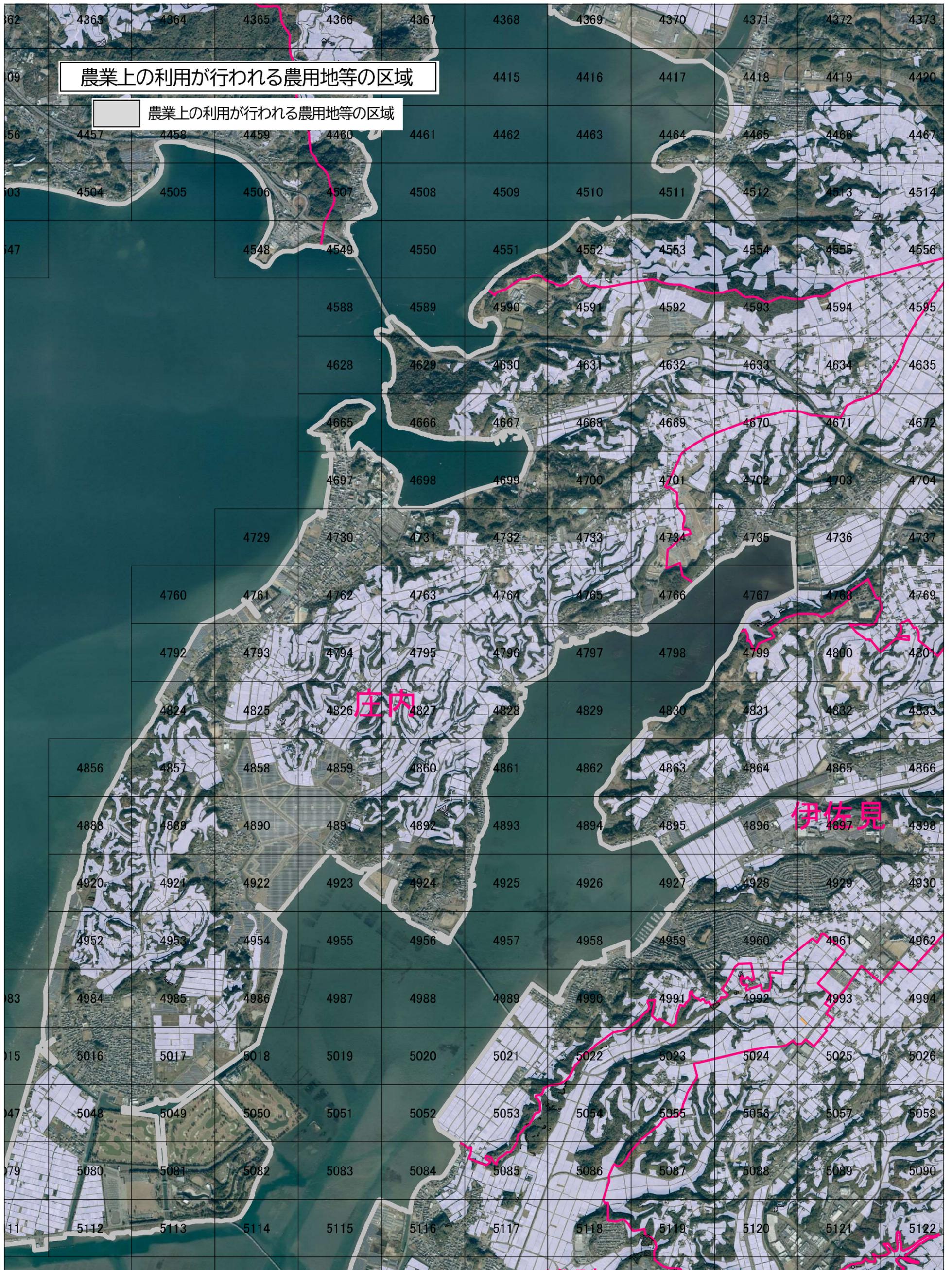
<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ③⑧基盤整備事業と農地集積事業の一体実施による大型農業施設用地整備、先進的施設農業の誘致(村楡保令地区)
- ④基盤整備事業と農地集積事業の一体実施による水田畑地化(村楡前田沖地区)
- ⑤新たな担い手による果樹産地の形成
- ⑦地域環境保全活動(多面的機能支払)・・・庄内地区環境保全対策協議会
- ⑦地域環境保全活動(中山間直接支払)・・・深萩町・呉松町集落協定

(別紙)

地域計画の地区	地区	農業集落名
庄内	庄内	北庄内村・呉松
庄内	庄内	北庄内村・深萩
庄内	庄内	北庄内村・平松
庄内	庄内	北庄内村・堀江
庄内	庄内	北庄内村・白洲
庄内	庄内	南庄内村・協和
庄内	庄内	南庄内村・内山
庄内	庄内	南庄内村・和田
庄内	庄内	村櫛村・中町
庄内	庄内	村櫛村・西明



本図面は筆界線の権利調整・確認には使えません

地域計画の地域の話合いの進め方

○参加メンバー

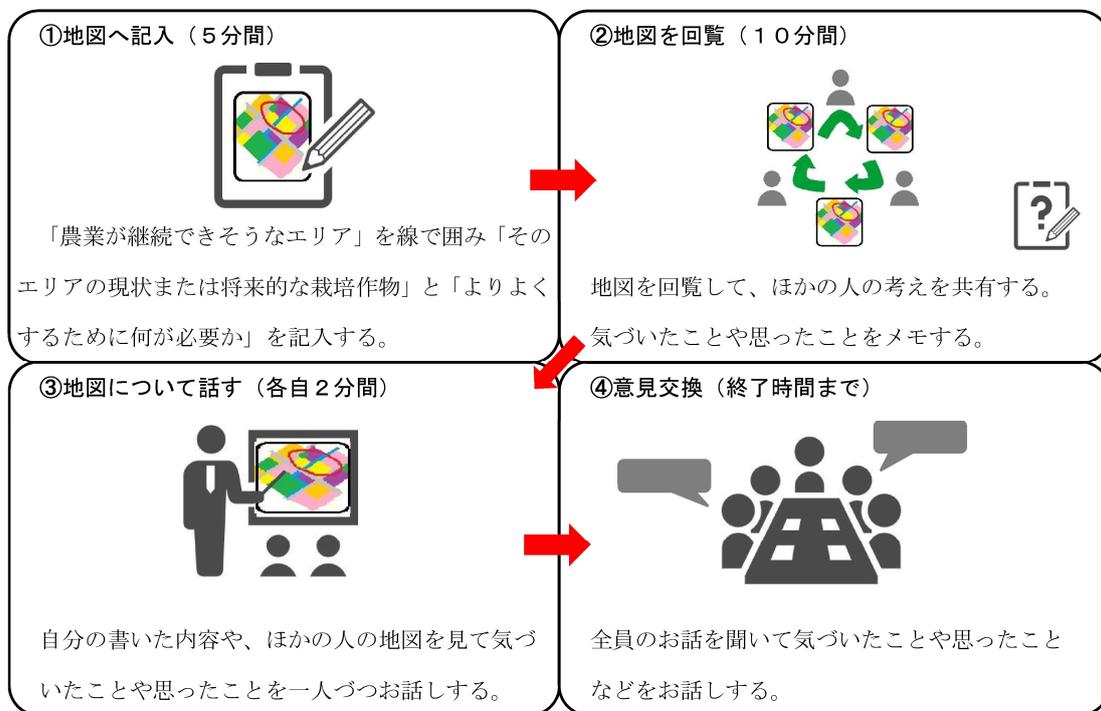
農業を行う側

- ・浜松市認定農業者協議会の役員
- ・地区内の農業者
- ・農協の産地作物部会の役員
- ・農協職員(地区営農支援担当)

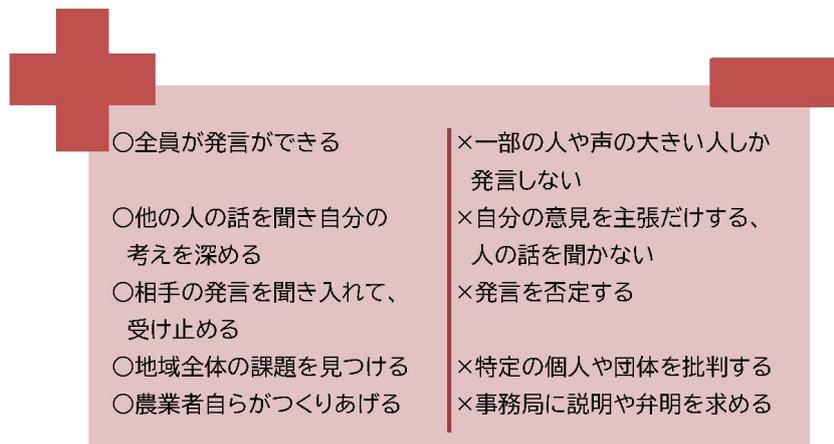
農業のサポート側

- ・農業委員、推進委員
- ・土地改良区、水利組合の役員
- ・中間管理機構(県公社)の職員
- ・県、市の職員

○話合いの進め方



○話合いのルール



地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
庄内	荒廃農地の田畑が2割	
庄内	この解消が鍵となるが、整備事業がすでに入っているので個人支援は終了	
庄内	事業のよる整備が大切 担い手がいてこそだが	
庄内	一年一年荒れ地が多くなっている 地図よりもっと沢山ある感じ 深萩・呉松・館山寺は農地に適している	
庄内	呉松・白洲の一部は使い道なく荒れている	
庄内	営農型ソーラーパネル進出している	
庄内	庄内荒れる一方だと心配していたが、きちんと営農するならソーラーパネルもありがたい	
庄内	一番は担い手を増やしていくのが大事	
庄内	新規参入や古参(親は農家、子は他業種)の助成が必要、特に古参対象がない	
庄内	担い手をつけるのは大事だけど、農業で食べていけないから、つけるのが難しい	
庄内	専業は色々な品種にしないとダメ	
庄内	自分は兼業だから拡大できたと考えている	
庄内	農地集積は県の力を借りてもっとすすめたい	
庄内	集積がカギ 儲からないから後継者いない、支援必要と思う	
庄内	全くゆかりのない新規就農者でなく、親が農家の人達の後継に関する支援のほうが効率・コストがいい	
庄内	就職口がなくて、農家を目指す人はお金目的とかもいてやめてしまう	
庄内	残っているのは水がひける所 今ある所に重点的に水をひけるようにする	
庄内	小さいのより大きく1つにし、今ある水を有効活用する方が良いと思う	
庄内	出来る限り畑を集めたい 作業効率があがるので、放棄地を減らす一助になると思う	
庄内	新しい人が続かないなら、今頑張っている人に支援を	
庄内	人件費かかる	
庄内	人を募集しても続かない 機械化や集約化をすすめて	
庄内	少しでも楽にするのがカギだと思う	
庄内	村櫛はちょっと進んだが、周りの参入ではなく進めたい	
庄内	臨海地区は耕作しやすい	
庄内	山あいには狭いので集積も大変	
庄内	地権者には集積前提でお願いしているが手間も多く大変	
庄内	JAが営農指導を積極的にやってくれたが、最近は抜けている気がする	
庄内	昔はパセリとか白菜とかがあったのに	
庄内	パセリを作っているが高齢者ばかりになった	
庄内	JAが新規の人の参入をすすめてくれてありがたい	
庄内	庄内のパセリも復活しそう	
庄内	畑は基盤整備されずに用水がたちあがるのか？庄内町はYes、村櫛は改良	
庄内	小さなホ場をまとめるのは大変 地権者が不安がる	
庄内	借りる側も大きい方がいいと思う、そういう基盤整備がすすめられれば	
庄内	1枚どーんが難しいのは分かるので、ある程度近くにあればまだよい	
庄内	父祖代来の地なので交換が難しいのも分かる	
庄内	耕作放棄地を個人が借りて耕すのは難しいので、自分達のような法人がやることにした	
庄内	村櫛…塩害はない	
庄内	レタス試作をしてもらっているが、水がないのでとれない	

地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
庄内	農業塾をやっているのでチラシを配りたい	
庄内	サラリーマンをしながらみかんに興味のある人がいれば紹介して欲しい	
庄内	農地集約 新規農地拡大をしたい	
庄内	集約	
庄内	集まっているため水の配水を重点的にできそう	
庄内	配水集中できる	
庄内	平地で耕作しやすい	
庄内	担い手育成 放棄地改善(レモン、みかん) 農地集積	
庄内	農地の集積	
庄内	農地の集積をどうすすめるか	
庄内	細かく入り組んだほ場が多く、大規模農業経営が困難	
庄内	後継者をどう増やすか(農業で暮らせるように)、営農指導制度	
庄内	主に深萩・呉松・平松・白洲の台地が面積広く、荒地地少なくこれから伸びていくと思われる	
庄内	荒廃農地解消は点(個人)から面(地域)になってきた	
庄内	基盤整備事業による区画整理、用排水路、農道、水田の畑地化ができれば、農業は維持できる	
庄内	担い手による農地集積にもつながればよい	
庄内	現在集まっている地域を残していくことにより、効率的に管理できる	
庄内	農業用水が届いている所に集中している	
庄内	今後、新たに開発するよりも集積しやすいのではないかと	
庄内	耕作放棄地が非常に増えている	
庄内	定年後に農業を始める人も多い	
庄内	担い手を探すのが難しい 収入が少ない	
庄内	集積がカギだがその方法?	
庄内	後継者不足、勤めながら農業	
庄内	放棄地120ha(田、畑込み)	
庄内	担い手の拡大ー新規参入への助成を増やす	
庄内	共同経営の後継者への支援	
庄内	定年後農業者への支援	
庄内	農地集積は県の力が必要	

農地利用図(庄内)

【全体】

- ・圃場の集約を進めて効率化ができれば少し拡大できる。
- ・まとまった放棄地があるが個々の農地が狭く権利者が多いので集約化に限界がある。基盤整備事業が必要

・果樹園地として放棄地の再生利用が進んでいる

- ・平坦、成形区画、用水OK
- ・ハウス作の担い手が高齢化
- ・農地の貸出促進が必要
- ・廃ハウスの残骸処理が課題

- ・平坦、成形区画、用水OK
- ・JAの支援でパセリの若手の新規就農が増えた
- ・ハウス作の担い手が高齢化、リタイアのぼうが多い
- ・作物混在でドリフト発生→作物集約が必要
- ・農地の貸出促進が必要
- ・廃ハウスの残骸処理が課題

- ・平坦、成形区画、用水OK
- ・JAの支援でパセリの若手の新規就農が増えた
- ・ハウス作の担い手が高齢化、リタイアのぼうが多い
- ・作物混在でドリフト発生→作物集約が必要
- ・農地の貸出促進が必要
- ・廃ハウスの残骸処理が課題

- ・樹園地として放棄地の再生利用を進めている。もう少し増やしたい。
- ・果樹の担い手育成圃場を計画している(参加者募集中)
- ・基盤整備事業が必要
- ・水利施設が老朽化している。必要な圃場に重点的に水を引けるようにしたい。
- ・圃場集約で水利施設を集約し管理軽減

・基盤整備と農地集積の一体事業が計画中
(水田放棄地の大規模施設用地)

・基盤整備と農地集積の一体事業が計画中
(水田放棄地の畑地化)

- ・農地集積事業で農地集積が進んでいる
- ・ほ場交換で担い手ほ場集約化

着色凡例

田 (担い手・利用権)
田 (その他自作地)
畑 (担い手・利用権)
畑 (その他自作地)
荒廃農地

【地図に書き入れること】

- ①将来的に農業が継続できそうなエリアを丸で囲む(だいたいOK)
- ②そのエリアの「作物」と「農業を継続していくために必要なこと」を記入する。